

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 事業名 | 地域から教育を考える～子どもがまんなかプロジェクト～ |
| 事業主体 (連絡先) | 木曾にオルタナティブスクールをつくる会 木曾郡木曾町日義463 |
| 事業区分 | (3) 教育、文化の振興 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 531,952 円 (うち支援金: 425,000 円) |

事業内容

- 教育について考える映画上映会と勉強会を実施。
「これからの時代の学びについて考える」
 - ・6月5日 映画「Most Likely To Succeed」上映会 11名参加
 - ・7月3日 勉強会 藤田美保さん講師 7名参加
「誰もが幸せになれる教育について考える」
 - ・11月13日 映画「みんなの学校」上映会 30名参加
 - ・12月12日 勉強会 小林直樹さん講師 9名参加
「地域の教育について考える」
 - ・1月8日 映画「奇跡の小学校の物語」 17名参加
 - ・3月21日 勉強会 八島思保さん講師 14名参加
- 子どもたちと共に新しい学びを創造する「小さな学校」を実施
 - ・6月21日 哲学カフェ 7名参加
 - ・11月21日 商店街でSDGsみつけ 11名参加
 - ・1月20日 哲学カフェ 8名参加



【小さな学校の様子】

【目標・ねらい】

- ①子どもや教育について考える機会をつくり、地域から教育を盛り上げていこうとする機運を高める
- ②新たな学びの場を設ける

事業効果

- ①延べ88名の方に教育について考える機会を持ってもらうことができた。また、アンケートより「みんなで作る学校、地域で作る学校の事例が見られて勉強になった」「教育に関わる者として新しい考え方に気づく貴重な体験だった」「対話ができる関係性を子どもに対しても大人どうしても心掛けたい」「自分にできることを考えたい」との声もあり、地域から教育を作り上げていこうとする機運を高める一助になった。
- ②延べ26名の方と実際に活動を行うことができた。またアンケートより「SDGsが身近なものであることがよくわかった」「実際に商店街に足を運んで話が聞けて良かった」「安心して話せる場、正解を意識しなくていい場合は、子供にも大人にも心地よい」との声もあり、子ども達にとっても良い学びの機会になったと考えられる。

※自己評価【C】

【理由】

- ・予定した集客人数が想定よりも大きく下回った。宣伝や周知の仕方について工夫、改善の余地あり

今後の取り組み

本年度購入した映画「Most Likely To Succeed」のライセンス付きDVDを用いて定期的に教育についてのイベントを実施し、今現場で行われている教育やこれからの時代の教育についての情報提供や啓蒙活動を行いながら、地域から教育や子どもたちについて一緒に考えていこうとするまちづくりに取り組む。

また、小さな学校についても継続して実施し、子どもたちにとってどんな学びが良いのか、どんな学びが必要なのかを模索しながら、新たな教育の場づくりに取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある